



観光による地域の変化 観光情報とICT

▶▶▶▶ 地域経営学科 准教授 鄭玉姫

1 - 地域観光調査

観光地理学を専門に、観光が地域に与える変化を研究しています。主な研究テーマは、農村の観光化、地域住民の観光活動、住民組織の活動などです。これまで、農漁村地域が海水浴場の開設や体験型観光の導入によりどのように変容してきたかを、農業や漁業などの基盤産業、住民生活の変化、そして国や地方行政における観光政策に焦点を当てて調査してきました。特に、地域住民へのインタビューや行政機関の担当者へのインタビュー（住民台帳や地籍台帳の収集・分析）、観光客へのアンケート調査などのフィールドワークを通じて得たデータは、地域社会を理解するうえで非常に重要です。この豊富なフィールドワーク経験を基に、実践的な学びを学生に提供しています。

2 - 観光情報調査

・観光者が利用する情報収集方法の変化に注目しています。従来はガイドブックや観光マップを利用していたが、近年ではSNSやインターネット検索が主流となっています。ICTの発展により、観光者が求める情報の形態や内容が変化しており、特にSNSやレビューサイトなどのユーザー生成コンテンツ(UGC)の影響が大きいです。このため、観光地の情報提供方法や観光者の情報収集行動について、効果的なデジタルツールの活用法を研究しています。

3 - 相談に応じられる分野

- ・観光政策と地域活性化: 農漁村地域の観光化や地域社会の変化に関する調査を通じて、観光政策や地域振興策に関するアドバイスを提供できます。
- ・観光情報提供のデジタル化: SNSやインターネットを活用した観光情報の提供方法、デジタルツールの活用に関する相談に応じることができます。
- ・観光データの収集と分析: 観光客や地域住民へのアンケート調査やインタビューを通じたデータ収集方法や、そのデータ分析に関するサポートを行います。

